

宮城県色麻町

持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2022.08.01

Vol.

8

August, 2022

第 8 号

隔月 1 日発行

# しかま支え合い 情報誌

特集

楽しみながら 課題対策



# VOICE

## みんなの顔を

## 見るだけでも楽しい。

## 乗り合いで行事参加。

### In 小栗山

KOGURIYAMA



橋本たけ子さん（中央）と夫の一意さん（右）。同じ地区の遠藤金子さん（左）。

買い物には  
まちの仕組みを活用

宮城県色麻町の中心部から西に十キロほど行ったところに、小栗山（こぐりやま）地区があります。小栗山地区の奥の方、青々とした山並みが望める穏やかな地域に、橋本たけ子さん（八十二）の家はあります。「野良猫がなつかないように家の中で飼ってるんです」と愛猫と一緒に迎えてくれたたけ子さん。

小栗山地区でも、運転免許を返納した人や、日中一人でいる高齢者の人が、地域でも増えてきたとのこと。以前は、行商の方が来ていましたが、その方も廃業されました。車のない方は、週に二回来る病院バスを利用して、通院と併せて買い物をしてきます。そんな中、たけ子さんも送迎を頼まれることが増えてきたそうです。



談笑する橋本さん夫妻と遠藤さん。

時代とともに  
変化する意識

「昔は家に十人乗りの車があったので、よく運転してましたよ」と懐かしそうに話したたけ子さん。以前は、小栗山地区に限らず、集落内で乗り合わせて出かけることは日常的な風景でした。しかし、時代とともに、そうした風景も見かけなくなってきました。「昔は歩いている人を見かけた時、『乗って行きましょ』と声をかければ、みんな乗ったものですが

11 住み続けられるまちづくりを



SDGs 目標 11

今は声をかけても『散歩なんです』と言われて遠慮されるんですよ」と、少し淋しそうに話します。「昔と違って今は勤め人がほとんどなので、日中に車を出せる人も少なくなりましたね」。

時代とともに、変わってきた働き方に加えて、「何かあった時に大変だ」という責任意識も強くなり、乗る方も乗せる方も遠慮がちになってきました。

車でお出かけする際の様子。常連の遠藤金子さんと。



船形山を望む小栗山地区の風景。



## 地域の活動に積極的に参加 社会参加が元気の秘訣

たけ子さんは、町の加工クラブにも参加しています。昔は各地区にクラブがあり、小栗山地区にもありました。小栗山分校があったところに加工場があり、地域の女性たちが二十人ぐらい集まって、漬物や梅干しなどを作って、学校給食等に提供していました。今は人数が減って、地区のクラブはなくなってしまうましたが、町の加工クラブにはお手伝いに行っています。「みんなの顔を見られるだけでも楽しいですね」と話します。また、夫の一意さん（八十四）

と小栗山地区の老人クラブ「小栗山長寿会」にも参加しており、行事の際には、会員さんの送迎もしています。「毎月二十六日は『フロ』の日で、会のみんなでかっぱのゆに行くんです。桜の季節なんかは、帰る時に、加美農の桜を見に行ったりしています」と話すのは、同会員の遠藤金子（八十五）さん。どんな地域にも課題はあります。使命感や義務感だけで取り組むと疲れてしまいます。楽しみながら取り組むのが長続きの秘訣だと感じました。



SDGs 目標 3



コロナ禍前の、小栗山地区ミニデイの様子。



色麻町老人クラブ連合会のグラウンドゴルフ大会の様子。

## 地域の活動情報をお寄せください！ 生活支援コーディネーターの菅原がお伺いします！

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！皆さんの地区で地域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。生活支援コーディネーターの菅原が取材にお伺いし、支え合

い情報誌にてご紹介させていただきます。支え合い情報誌は、町内全戸配布の他、町外・県外の施設にも配布されます。皆さんの地区の活動が、町内外の地域を活性化するヒントとなり、よりよい社会づくりに貢献していきます。ご協力よろしくお願いたします！

### 【連絡先】

TEL:0229-65-2260 FAX:0229-66-1713  
E-mail:shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

## EYE'S



### まちの人と交流できる 子どもの居場所 ふれあい食堂 ボランティア募集中！

ふれあい食堂は、おうちの人や帰ってくるまで、お友達や大人の人たちと遊んだり勉強したりして過ごせる場所です。ふれあい食堂では、子どもの遊びや勉強の相手をするボランティアを募集中です。詳しくは色麻社協（65-2260）にお電話いただくか下記QRコードからメールでお問い合わせください。



問い合わせ用  
QRコード



ふれあい食堂の様子。

# しかま支え合い掲示板

## 色麻町老人クラブ連合会 愛称募集中!!

色麻町老人クラブ連合会は、今年で創立 60 周年を迎えます。しかしながら、「老人」という言葉も時代と共にイメージが変わってきており、健康寿命が伸びた現代では、実態にそぐわなくなってきました。そこで、創立 60 周年を記念して、新たに色麻町老人クラブ連合会の愛称を公募することにしました。採用された方には、1 万円相当の記念品をさしあげます。思わず入りたくなるような愛称をお待ちしております！

問い合わせ先は、色麻町社協・菅原（65-2260）まで。どなた様も奮ってご応募ください!!



6/12（日）に行われたペタンク大会の様子

### 新入会員募集中！新クラブ結成も支援します！

色麻町老人クラブ連合会では、新入会員募集中です。色麻町老人クラブ連合会は、研修会やスポーツ大会を通じ、地区を越えて同世代の方々となつながら繋がる場所です。

ご興味のある方は、お知り合いの会員の方に相談されるか、色麻社協（0229-65-2260）までお問い合わせください。事務局におつなぎいたします。

## 各地区のミニデイの様子

住民の皆さんの活動も少しずつ再開されています。ミニデイも、各地区で再開されています。

7月1日（金）、二反田地区のミニデイが行われました。役場の総務課の方を講師に招いて、防災講習を行いました。二反田地区は川に近い地区でもあり、質疑応答の際は、参加された皆さんから活発な意見が出て、内容の濃い講習会になりました。

7月13日（水）は、下黒沢地区でミニデイが行われました。この日は生憎の雨でしたが、15名の方々が参加されました。役場の保健福祉課の方を講師に健康講話を行いました。講話の後は、皆さんでバグジー。楽しみながら程よく体を動かしました。



二反田地区ミニデイ。防災講習の様子。



下黒沢地区ミニデイ。バグジーの様子。

## しかま支え合い情報誌 vol.8

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：[shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp](mailto:shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp)

URL：<http://www.shakyo.or.jp/hp/287/>

しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。